

プレスリリース
2019年2月

バウハウス創設 100 周年記念

“マックス・ビル バイ ユンハンス オートマティックLtd1000”



“マックス・ビル バイユンハンス オートマティックLtd1000” がシリーズで初めてムーブメントの駆動をバウハウスデザインと共に披露。

バウハウス創設 100 周年を記念して、ユンハンスがモダンでありながらも、今まで以上の力作である自動巻限定モデルを発表します。クラシックな 3 針時計である“マックス・ビル バイ ユンハンス”は、プロダクトデザイナーのマックス・ビルが考えていた時計の最も本質的な要素、可読性の向上を表現しています。

マックス・ビル自身も、ちょうど 100 年前に創立されたバウハウスで学んでいます。マックス・ビルは 1927 年 Dessau を訪れ、バウハウスの建物を初めて目にしたときの印象を「白い壁、大きな暗いガラスのファサード、最前部には学生寮、そして赤がアクセントとなっているバルコニーのドア、こんな建物は今まで見たことがない」と語っています。

このマックス・ビルのパウハウス建造物に対する感銘が、2019年の1,000本限定“マックス・ビル バイ ユンハンス オートマティック Ltd 1000”に表現されています。これはパウハウスの基本思想を内蔵したタイムピースです。マット仕上げのシルバーダイヤルは、デッサウ校の建物の白壁を想起させ、アンズラサイト(無煙炭)色のケースは印象的な校舎の正面を表現しています。そしてグレーのストラップ。マックス・ビルのカラーでデザインされたこのストラップはパウハウスの建築要素、コンクリートを連想させます。すっきり明確でシンプル、可読性に優れたモデルになりました。赤い針は、デッサウ校の有名な赤いドアを反映したものです。デイト表示にもこの赤いアクセントが見られ、より一層際立っています。



パウハウス ファンに向けて、時計の裏面にはまさに時を遡る仕掛けが濃縮されています。ガラスのケースバックには大きな窓のファサードでできたパウハウスが印象的で、それと同時に歴史的に興味深いこの窓を通して機械式ムーブメントを覗き見ることができます。ここでもまた、パウハウスの有名な赤いドアがアクセントになっています。

パウハウス 100周年 マックス・ビル バイ ユンハンス オートマティック - 100年のデザイン史を表現したタイムピースです。

問い合わせ先

ユーロパッション株式会社 マーケティング部 広報 石川
101-0042 千代田区神田東松下町30番地 TKビル4F
Tell : 03-5295-0411 Email : info-ep@europassion.co.jp

バウハウス 100 周年記念
“マックス・ビル バイ ユンハンス オートマティック Ltd1000”
仕様



027/4901.02
予価 168,000(税抜き)
限定: 1000 本、5月発売予定

ムーブメント:	自動巻ムーブメント J800.1、38 時間パワーリザーブ
ケース:	ステンレススチール、アンスラサイト(無煙炭)マット仕上げ PVD 加工、直径 38.0 mm、厚さ 9.7 mm、両面反射防止加工ドーム型サファイアクリスタル、バウハウスのモチーフが印刷され部分的にムーブメントが見える 4 本のネジ付きシースルーバック
ダイヤル:	マット仕上げ シルバーのダイヤル、ルミナスポイント
針:	環境にやさしいスーパーミノバ付き針
ストラップ:	PVD 加工バックル付きグレー カーフレザーストラップ
防水性:	3 気圧
特徴:	レッドのルミナス加工デイト表示

Junghans – Live your style

150年以上にわたり、ユンハンスは「時」にかたちを与えてきました。細部への徹底したこだわり、ハイレベルのデザインを追求する姿勢、すぐれた品質、そして何世代にもわたって蓄積されてきたテクノロジーのノウハウが1861年の創業以来、ユンハンスの時計を特徴づけています。ドイツ南西部シュヴァルツヴァルトのシュランベルクに本社を構えるユンハンスのサクセスストーリーはまさにそうした価値観を基礎にしているのです。すでに1903年に、ユンハンスは3000人以上の従業員を抱える世界最大の時計メーカーでした。精密なムーブメントの開発によって、1951年にはドイツ最大の、そして1956年には世界第3位のクロノメーターメーカーとなりました。1972年に開催されたミュンヘン・オリンピックでは公式タイムキーパーを務め、時間計測の分野で新基準を打ち立てました。そして波瀾に満ちた激動の歴史を経て、2009年にはシュランベルクの実業家ハンス＝ヨッヘム・シュタイム、ハネス・シュタイムが経営を引き受け、新たな成長の時代に入っています。ユンハンスは現在でもなお全時計製品を、歴史ある本社内で製造しています。2018年には本社にあるテラス式建物が100周年を迎え、新たな息吹を与えられました。長年にわたり、ユンハンスの時計製造の心臓部として光輝いてきたこの産業用建築の記念碑的な建物がシュヴァルツヴァルトにおける時計製造の伝統を体験できるミュージアムになりました。最新コレクションにも、ユンハンスのデザインおよび時計製造の長い伝統が活かされ、現代にふさわしい形で取り入れられていることがわかります。1930年代以来製造されているマイスターコレクションやマックス・ビルのタイムピースはその好例です。1956年にスイス人デザイナー、マックス・ビルと共同でデザインされたクラシックなバウハウス・ウォッチ、マックス・ビルコレクションは、今日も当初のデザインとほとんど変わらない形で製造されています。1990年にはユンハンスは初の電波腕時計を発明し、新基準を打ち立てました。2018年、新世代のインテリジェント電波式ムーブメントを開発し、優れた精度と正確性によってこのテクノロジーが新たに注目を集めています。ユンハンスの時計のクリアなデザイン言語は、社の歴史に一貫して息づいています。最も新しいところでは、無駄を省いたシンプルな表現のFORMコレクションがその例で、スタイリッシュなモデルにそうしたデザイン言語があらわれています。その洗練された完璧なデザインによって、ユンハンス時計は150年以上にわたり、時計製造とデザインの見事な融合を実現しています。

問い合わせ先

ユーロパッション株式会社 マーケティング部 広報 石川
101-0042 千代田区神田東松下町30番地 TKビル4F
Tell : 03-5295-0411 Email : info-ep@europassion.co.jp